



町長  
中川原 秀樹



副町長  
片岡 力



教育長  
伊藤 正己



Mayor of Omu Town  
Hideki Nakagawara

## 郷土愛に燃え 明るく豊かな まちづくり

### 町長が考えるまちづくりの原点

まちづくりへの基本的な姿勢としては、町の憲法である「町民憲章」制定の精神に立ち返ることが必要と考えています。町民憲章は「町づくり、人づくりの理念として町政推進の指標とする」「町民の活力を育む規範として日々の生活の道標とする」の二つを理念の原則としています。また、郷土雄武町

にふさわしい理想像を現存化するため「自然愛好・歴史尊重・経済安定・福祉推進・文化興隆」を柱としており、まさにまちづくりの原点であると考えています。

### まちづくりの方向性

町民憲章「五つの誓い」の理想を実現させるため、次の四つのまちづくりを町民のみなさんと考えていきます。

- 「海・山・人」の資源を見つめ直し、雄武町の良さを再発見することによって、わが町をさらに愛し、地域力を最大限に引き出すための「愛町心のもてる」まちづくり。
- 住んでいる地域に根をはり、家族や自治会などのコミュニティを大切にすることで生きがいを感じ、高齢者のみなさんが安心して暮らせる仕組みづくりを確立するとともに、夢と

生きがいを持てる「つながる」まちづくり。

- 今日の雄武町を築き上げた先人に敬意を払うとともに、すばらしい自然環境のもとで伸びやかな子育て、子育てのための環境を作る「そだてる」まちづくり。
- 幸せに生きるための指針である「五つの誓い」の理想を実現させるため、対話を最大限に重視し、政策の具現化を図る「みなさんとともに考える」まちづくり。

### 町長のまちづくりへの決意

町民憲章を今一度見つめ直し、「郷土愛に燃え、明るく豊かなまちづくり」を基本理念とし、町民一人ひとりが幸せになるためのまちづくりを目指して全精力を傾注していきたいと思えます。

### 雄武町の概要

雄武町は北海道北東部に位置するオホーツク海沿岸のまちです。東北側一帯はオホーツク海に面し、東部から南部は興部町・西興部村に接しています。また、南部から西部には下川町・名寄市・美深町との境に険しい北見山地が連なり、北西は枝幸町に隣接しています。地形は二等辺三角形に近い形をし、総面積は637.06平方キロメートルを有しています。(平成24年3月31日現在)



### 雄武町章

おうむのヲを六つ組み合わせさせて雪形にし、その中央に北斗星を配置して北見雄武を表現しています。また、青色は広大な空とオホーツク海を象徴しています。



### コミュニケーションマーク

アルファベット(OUMU)のOとMをモチーフにしたコミュニケーションマーク。赤と黄色の円は日の出を、青のMはコバルトブルーのオホーツク海を、緑のMは背景に広がる草原を表現しています。のびのびとダイナミックなタッチで人々の心の広がりを表しています。



### 雄武町民憲章(町民の誓い)

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、すこやかに、なごやかに、まめやかに励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 自然を生かし住みよい環境をつくりまします。
- きまりを守り明るい社会をつくりまします。
- ともに助け合い楽しい職場をつくりまします。
- 元気に働き豊かな家庭をつくりまします。
- 希望に生きたくましい雄武町民となります。



町の花「ハマナス」



町の鳥「カッコウ」



町の木「トドマツ」



町が奨励するスポーツ「ブルームボール」